



桜虹会だより

2018年度 Vol.2



2018年11月15日
さくら作業所 もちつき大会



2018年9月22日

さくら作業所

日帰り旅行 in 倉敷



桃から生まれた・・・？

はじめまして!!

前監事から、この役割を引き継いで一年半以上が経過しました。この間、一番印象に残ったのは十五周年記念行事でした。「にじのえき」「さくら作業所」の誕生のスライドを見ながら、本当にたくさんの皆さんの尽力の上に桜虹会が作られていることをひしひしと感じました。

ちょうど、桜虹会がスタートしたころ、わたしも大野地域で障がいのある人たちのデイサービスで仕事をしていました。作業や訓練、入浴や排せつ、食事の介助を毎日しながら、障がいがあっても地域で「豊かに」暮らしていくためには何が必要なのか、利用者さんと手探りで探していたような気がします。制度サービスも未整備な時代で、土日はボランティアの皆さんの力を借りて外出をしたり、買い物に行ったりこの地域でも同じような動きがあったことを思い出しました。今思えば、何の経験もないわたしを職員として成長させて下さったのは、利用者の皆さんや、地域の方たちだったのだなと改めて感じました。

今わたしは、はつかいち生活支援センターで仕事をしています。主には経済的な困りごとを抱えていらっしゃる方が、経済的に自立していけるようなお手伝いをしています。障がいのある人への支援については、障がいの専門支援機関と連携を取りながら、本人さんと一緒に困っていることの解決に向けて考える「チーム」の中で仕事をしています。

支援させていただいた方が、作業所に通われるようになって、「作業所、みんな優しく楽しいです」と言われると、こちらもとてもうれしい気持ちになります。

これまで、利用者さんを通じて桜虹会の作業所に関わることはあっても、法人運営に携わることとは初めてで不安もありますが、これからも利用者さんや職員さんがこの法人で「豊かに」暮らしていくことができるお手伝いを微力ながらでもできればと思っています。よろしくお願いします。

監事 梅本登志子

ハナミズキ

一泊旅行 in ハウステンボス

11月18・19日でハウステンボスへ一泊旅行に行ってきました。新幹線とハウステンボス号を乗り継ぎ、4時間近い移動でしたが、ハウステンボス号のオシャレな内装を堪能でき、車窓からの風景を眺めながらのんびりとした時間を過ごすことができました。

ハウステンボスに到着すると町並みを散策しながらお土産を買ったり、バーチャルのお化け屋敷を体験したりとあっという間に時間が過ぎていきました。そうこうしている間に辺りが暗くなりイルミネーションがあちらこちらで始まりました。世界最大のイルミネーションだけあって壮大な光景でした。

道中の風景を楽しみたい、おいしい博多ラーメンや佐世保バーガーは絶対に食べたい、ハウステンボスのイルミネーションが見たい！など、参加したメンバーさんそれぞれが思いの目的を持って参加した今回の旅でした。日常から少し離れてリフレッシュすることができたのではないのでしょうか。



にじのえき

忘年会をしました！！

決めるのが遅くなり、どこのお店も予約でいっぱい！

やっとの思いで予約できたお店は、食事はもちろん、カラオケも楽しむことができました。今回はみんなで話し合ってお酒もほどほどOKに。忙しい一年でしたが、楽しく締めくくることができました。



みんながしあわせ感じます～♪

と、次の忘年会で大合唱できるといいなあ

そだね～～😊

誰よりもしあわせ
感じます～♪♪

～長い間お疲れ様でした～

赤い羽根共同募金の助成を受け平成16年キャラバンがやってきました。虹のマークを付け15年間大活躍。キズをつけられ、真っ黒になっても文句一つ言わずに16.5万km走り続けてくれました。「半端ないって！！」が、ついに力尽き（エアコン等故障）退職することになりました。

今までみんなの命を守ってくれてありがとう(・・)/~~~~



最後まで荷物いっぱい詰め込んで頑張ります！



🌸さくら作業所🌸

～もちつき大会を行いました～



11月17日の土曜日、20回目を迎える「もちつき大会」をさくら作業所で行いました。天気予報は雨・・・当日までドキドキでしたが、当日の天気は晴れに♪良い天候の中、地域のこども会や民生委員、ボランティアの方々、また行政の方のご協力のもとに、にぎやかなもちつき大会を開くことができました。

恒例の、きれいな音色を織りなすハンドベルの演奏のあとは、廿日市高校ジャグリング部の方たちの素敵なパフォーマンス。最後はみんなも参加して、楽しい時間を過ごすことができました。

もちつき大会にお越しいただいた皆さま方に心より感謝いたします。また、これからもよろしくお願いいたします。

さくら相談支援事業所

相談支援の仕事は相談者のご自宅に訪問することが多く、一人暮らしの方もたくさんおられます。7月に起きた西日本豪雨災害以降は「防災」という話題が上がることも多くなったように思います。特に一人暮らしの方からは「どうやって逃げたらいいんだろ」「避難所の場所がわからない」など、今回の見開きのページにあるような意見が多く出てきます。そういった時には持って行ったタブレットで避難場所の確認を一緒にしたり、台風や大雨など事前に予想のできる災害の時にはショートステイの利用について話をしたりとできる範囲でのアドバイスをさせてもらっています。

ただ、実際に災害が起きた時には、職員も冷静な対応は難しいです。現在、桜虹会では防災マニュアルの作成を進めています。いつ起こるかわからない災害に漠然と対応するのではなく、正しい知識を勉強し、早急にマニュアルを作成していこうと思っています。

防災のときによく言われる言葉で、「自助」「共助」「公助」があります。まず、正しい知識で災害に備え、難しいところは近所や周りで助けあいながら、公的な機関は災害に備えた対策を普段から考える。いつも思うのが、この言葉はそのまま福祉の世界にも言われることだと常々思っています。



桜虹会交流会研修

～災害から命を守るために～

毎年恒例の桜虹会の交流会が平成 30 年 1 月にありました。今回はレクやスポーツではなく、最近続いている自然災害から命を守るためにはというテーマで、廿日市市危機管理課の地域防災相談員のかた2名にきていただき、今できることや災害が起きた時にすべきことを学びました。お話を聞いた後は参加した44人のメンバーさんと職員で5つのグループにわかれ、今後していこうと思うことや今、不安に感じることをみんなで話し合いました。

- ・福祉避難所がどういうところか知りたい。
- ・まだ、危険なことにあったことはないけど、避難場所を把握したい。
- ・足が悪くて杖で歩いているので、慌てて逃げられないのが怖い。
- ・広島は災害が多い。怖いと思ったことは少ないと思う。
- ・地域の逃げるところを探しておかなければ…
- ・テレビで見てても自分のことではないと思ってしまう。みんなの避難、家族の避難、自分の身に置き換えて考える。
- ・避難の仕方などを勉強していく。

A グループ

- ・災害が大きかったら、避難するようにしたい。
- ・携帯用のトイレも必要なのではないかと感じた。
- ・広島県が土砂災害が一番多いと聞いて驚いた。
- ・台風には気を付けようと思った。
- ・去年 7 月の水害は今もひどい状態だ。
- ・避難する途中で亡くなることが多い。
- ・マンションに住んでいる人は垂直避難した方がよい。
- ・お互いに近所の人との声かけができるとよい。
- ・映像が怖かった。

B グループ

- ・南海トラフの発生率が高いことにびっくりした。C
- ・カップラーメンの備えなどできるところからしていきたい。
- ・テレホンサービス知らなかった。確認してみたい。避難場所がわからない。
- ・土砂崩れなど発生したら怖いと思った。
- ・避難場所へ行くまでが危険だったらどうしたらいいのか？
- ・広島県は土砂災害が一番。防災の意識をつけたい。
- ・100 均で売っているホイッスルを見たい。
- ・自宅から避難場所までどうやって行こう？

C グループ



- ・自分の家の立地条件が土砂災害危険区域なので、安全安心メールへ加入したい。
- ・避難するだけでなく、垂直避難が大事。
- ・土砂災害の危険性は広島県が一番だと知って驚いた。
- ・昔、近所で土砂災害があつて怖かった。
- ・地震が夜起こったら、すぐに行動できない。台所の机の下に逃げる。土砂災害は予報が出るから対応できるが、地震は怖い。
- ・危険区域に家がある。

E グループ

感想の中にあるいくつかの専門サービスの解説 **防災ワンポイント！！**

※安心安全メール

廿日市市での災害情報を事前に登録している携帯電話やパソコンにメール配信をするサービスです。

※防災行政無線テレホンサービス

☎ 0120-154-201

避難勧告や避難所開設、災害発生後の復旧情報などを電話で確認する事ができるサービスです。(廿日市・大野・吉和地域)

※災害用伝言ダイヤル

☎ 171 にダイヤル

大規模災害時に電話を使って音声による伝言版の役割や安否確認を果たすサービスで、毎月 1 日・15 日・防災週間・正月三が日に体験利用ができます。

- ・FM 廿日市の周波数を知りたい→76.1
- ・怖い。ひとり暮らしなので、友和病院のような安全なところにいたほうが良い。
- ・わかりやすい話で聞いてよかった。
- ・宮島クイズがわからなかった。
- ・土砂災害の危険な場所が多いのにびっくりした。
- ・自分の命を守るのが一番。それから他の人のことを考えること
- ・宮島にも災害のあるのがわかった。
- ・土砂災害、地すべり、がけ崩れは、ことばでは知っているがよくわからなかったので見れてよかった。
- ・災害伝言ダイヤルが体験できるのを知らなかった。使い方を作業所で体験してみるといいかも…
- ・防災無線を電話で聞けるのは知らなかった。電波が入りにくい場所にいるので知れてよかった。
- ・勉強になりました。クイズがよかった。

D グループ

でもやっぱり楽しいこともしなくちゃね！ということで、勉強後はみんなですたみな太郎に行っておなか一杯になりました！



コーヒーショップあんず

パン販売始めました！！

あいプラザの売店コーナーでは、コーヒーショップあんずの喫茶以外にも、パンを売りに他の事業所からパン販売メンバーが来られているのをご存知ですか？

月曜日と木曜日はアダージョさん、水曜日はピクトハウスさんが、お昼頃に来られています。火曜日と金曜日は、どこの事業所も来られないということで「じゃあ、あんずもパンを仕入れてみんなに買ってもらう」と企画し、現在金曜日にパン販売を行っています。



～パンの種類～

- ・おひさま食パン
- ・切株フレンチトースト
- ・あんバター
- ・米麹酵母の藻塩バター
- ・クロックムッシュ
- ・林檎のタルティーヌ
- …その他約 20 種類。

最初は、作業所で作られたパンを売りたいと思い、色々な事業所に声をかけさせてもらったのですが、どこも忙しく、現状で精いっぱいとのこと。そこで、あいプラザの近くにある知る人ぞ知る名店“おひさまパン工房”に「パンを売らせてください」と交渉したところ、快く OK をいただきました。

現在は、メンバー 2 名でパン販売を行っています。最初は馴染みのなかったパンの名前も徐々に慣れていき、できるだけお客様に説明しながら販売しています。お近くに来られた際はぜひ寄ってみてください。

☆あんずのパン販売の日：毎週金曜日 11：45～（売り切れ次第終了）☆

出張販売しています！！

色々なイベントで声をかけていただき、コーヒーを淹れています。これからも、お声がかかればメンバーと一緒に可能な限り伺おうと思っています。

【平成 30 年度に参加したイベント】

- ・はつかいち福祉ねっと全体会
- ・ふくしのまつり（三條会主催）
- ・障害者週間イベント（ゆめタウン）



忘年会しました！！

12 月 22 日に「カナダカンサ日市」にて忘年会を行いました。メンバー、職員合わせて 13 名の参加となり、オシャレで美味しい料理に参加した皆さんは大満足でした。

次は新年会を企画しています。



今年度も国会請願署名始まりました

きょうされん（旧称：共同作業所全国連絡会）では、障害福祉についての制度の拡充を求める「国会請願署名・募金運動キャンペーン」を行っています。今年で42回目となる歴史のある署名活動ですが、これまで桜虹会も「きょうされん」の国会請願署名を皆さんにお願いしてきました。今回は、署名活動について改めてご紹介していきたいと思います。

～ 署名活動の流れ ～

（11月～12月頃）

- ・加盟事業所に署名用紙が届く
- ・署名活動開始



（4月～5月頃）

- ・皆さんからいただいた署名を集計します。
- ・5月の下旬には、きょうされんの国会請願行動で衆議院、参議院議員会館を訪問し、紹介議員になってくれた議員さんに署名を渡します。

《請願項目》

1. 中央省庁等による障害者雇用の水増し問題を究明するとともに、障がいのある人の働く場をひろげ、必要な支援等を制度として確立してください。
2. 障害年金を安心して生活できる水準まで引き上げるとともに、希望する暮らしを支える制度（グループホームやヘルパー制度など）を拡充してください。
3. 障害のある人が65歳を超えても必要とする制度を自ら選んで使えるよう、介護保険優先原則を廃止してください。
4. 地域活動支援センターが安定した運営をできるよう、国の責任で実態を調査し、制度を拡充してください。
5. 事業所の深刻な人手不足の解決に向けて、働く職員の労働条件をひきあげるために報酬制度を抜本的に改善してください。

【アルパークで署名活動をしました】

毎年12月の障害者週間に合わせて「がんばるDAY」と称して街頭署名を行っています。今回は12/6にアルパーク連絡通路にて署名活動を行いました。あいにくの雨でしたが、さくら作業所のメンバーをはじめ、4事業所31名で大きな声を出しながら署名を集めました。



前回の国会請願は残念ながら不採択となりました。なかなか請願項目の実現は難しいところもありますが、どの項目を見ても障害者支援に欠かせないものであり「声を出し続ける」ことが大事です。

今回のお便りに署名用紙を添付しておりますので、ご賛同いただける方はご署名をお願いいたします。

（最寄りの事業所に持ってきていただけると大変助かります）

よろしくお願いします！！



お知らせ ～2018年度後援会加入状況～(2019年1月31日現在)

秋保 和徳	阿部 和実	阿部 純二	荒木 洋子	飯田 元隆	石井 スミエ
伊藤 徹也・敦子	宇佐 妙子	畝沖 春美	大貫 哲也	大野 宣江	
沖田 健吾	沖原 俊彦	柿丸 慶子	鍵本 久治	柏尾 良一	片田 孝志
亀井 和志	亀井 俊雄	川上 明美	川本 節子	川本 義弘	木村 悦子
木村 順子	国政 康子	熊谷 三智也	小泉 敏信	神戸 百代	斉藤 寿美子
佐川 富貴枝	櫻井 正弥	佐々木 菊江	佐々木 みち子	佐藤 美佐子	清水 弥生
新家 ひとみ	曾根 朱美	竹下 きよみ	武田 俊子	田中 博隆	田中 陽子
椿 京子	鶴原 富夫	中川 布美子	中本 恵	中藪 真澄	新田 房子
野村 大輔	平岡 章子	廿日市地区民生委員児童委員協議会			平田 万里子
平田 祐子	廿日市市中央地区民生委員児童委員協議会			平野 範子	広兼 迪也
福原 郁子	正木 シズミ	松野 純夫	松本 富伯	松本 美津枝	山中 祐介
山本 美恵子	山脇 叡子	吉田 末廣	脇田 敏明	林 千代子	松田 英治
宮地 秀樹	亀本 スミ子	安井 彰			

ありがとうございました。(順不同)

編集後記

平成最後の歳を迎えました。以前は、作業所を利用される方の中に平成生まれの方がいらつしやると驚いたのですが、それも遠い昔のように思えます。次はどんな元号に決まるのでしょうか？どんな元号に代わっても、障がい者を取り巻く状況は、一進一退を繰り返していくのでしょうか。

平成十八年「障害者自立支援法」が施行されて、精神障害を持つ方々にとっては福祉サービスがより身近なものとなり、「あたりまえの生活」を地域で送ることを大きく後押しすることになりました。働く場」も今までの作業所だけでなく、それぞれ目的の違う「働く場」ができ、選択肢が増えました。廿日市市でも「はつかいち福祉ねっと」が誕生し、「障がいのある人もない人もひとりひとりが笑顔で暮らせるまち はつかいち」をめざしてさまざまな取り組みを行っており、桜虹会も連携、協力しています。

精神の障がいを持ちながら地域で暮らしていく中で発生する、いろいろな「生活のしづらさ」。その課題に共に向き合い、共に取り組み、その人が望むその人らしい「ごく当たり前の生活」を支援していく、これからも変わりなく、続いていくことだと思います。

さくら作業所 木村順子

